

躍

いきいき狭山人
びと



輝く栄光の金メダル。世界を舞台に、活躍はこれから大きく広がります

ロープスキップینگが大好き ふるさと狭山から日本の代表として 世界の頂点を目指し活躍していききたい

楽しみながら軽快な音楽に合わせて運動ができることで、子どもから大人まで幅広い年代に親しまれている「リズムなわとび」は、狭山市が発祥の地です。昭和58年、当時の南小学校教諭牛窪十美雄氏の提唱で始まったクラブ活動が、地域サークル

として狭山ロープスキップینگクラブへと発展し、今では全国各地に普及しています。

ロープスキップینگの発祥地である狭山から一人の優秀なジュニア選手が誕生しました。南小学校6年生の豊岡渚さんです。渚さんは、ご家族が熱心にクラブ指導にあたってきた影響を受けて、6歳の時からなわとびを始め、日を追うごとに才能が開花し、上達していきました。

渚さんは、昨年9月に狭山市で開催された第2回全日本ジュニアロープスキップینگ記録会で優勝し、さらに今年の2月にインドのデリーで行われた第4回アジア・ロープスキップینگ・チャンピオンシップ2007に日本代表として出場し、連続回数を競い合う3重跳びの種目で、連続77回を成功させ、2位以下を大きく引き離して見事に金メダルを獲得しました。

「今回のアジア選手権では

台湾、香港、インド、韓国などの選手と競い合い、とてもいい経験になりました。

次の目標は世界大会に出場して頑張ることです。外国で仲良しの友達ができたのも、とっても嬉しかったです」と語る渚さんの輝く瞳は、すでに世界に向かってるようです。

毎週、南小体育館で練習を続ける彼女ですが、「大会前になると、東京で出場選手の強化練習が続くのでつらいこともあります。でも、みんなと一緒にの練習はとても楽しいです」と、幼いころから親しんでいるなわとびが、やはり大好きなようです。もちろん、一流の選手としての体力維持と健康管理にも気を遣う毎日です。「野菜を多くとり、牛乳をたくさん飲むようにしています」とのことです。

将来の夢は、選手として活



活躍の裏には日々の練習の積み重ねが

躍するだけでなく、インストラクターとして、なわとびの指導者になりたいです」と抱負を語り、狭山のロープスキップینگ発展にも貢献していきたいと意欲的です。

その一方、実力が注目され、食品メーカーのCMで有名モデルとなわとびで共演したこともあり、「私もファッションモデルになってみたい」と夢多き女の子の気持ちをのぞかせる渚さん。

これからも世界を舞台にその限りない可能性を羽ばたかせてください。

ロープスキップینگ選手

豊岡 渚さん

市民みなさんの声

オピニオン

高齢化社会に向けて 生きがいのある環境を



沼崎好男さん
(柏原在住)

私は生まれたときから狭山市に住んでいて、発展する郷土をこよなく愛してきました。若いころから地域の活動には積極的に参加し、地元消防団の分団長をしているときは、ずいぶん張り切って活躍したものです。たくさんの友人がいて、今でも一緒に過ごすことが多く、現在は柏原

西部寿会の会長を務めさせていただいています。高齢化社会といわれるとおり、私を含めみんな年を取りましたが、まだまだ元気な人がたくさんいます。そして同じ仲間たちが集えることは本当に楽しいものだと思います。現在、市には三つの老人福祉センターがありますが、市内のどこからでも最寄の施設に気軽に行くことができるように、もう少し増やしていただけるといいですね。行事によっては公民館などを利用することもあります。同じ世代が気兼ねなく楽しむには、部屋も広くてカラオケなどもできる老人福祉センターは大変いいと思います。今後ますます進む地域の高齢化の中にあって、いわゆる老人の数は増える一方です。私たちのような世代の多くの人たちが、まだまだ活躍できる力と生きがいを持つためにも、老人施設の充実を図っていただきたいと思っています。

市の考え方

貴重なご意見ありがとうございます。

高齢化の進展の中にあっては、特に高齢者の皆さん一人ひとりが生きがいや役割を持って、毎日の生活を送ることが大切です。これから老人福祉施設には地域福祉の拠点となるような視点を持たせ、利用者の声を聴きながら、豊かな地域づくりのための、地域に密着した運営に努めていきたいと考えています。

担当 高齢介護課

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代) ✉koho@city.sayama.saitama.jp

私たちの会は、平成17年に発足し、奥富公民館で活動しています。会員は全員女性です。発足は、公民館事業で行われた体験教室の参加者の呼びかけが始まりです。私たちのモットーは、会員同士の良い関係を維持し、お互いに信頼し合って楽しく活動していくことです。

ツールペイントは、木やブリキ、ガラス、陶器、布などがあらゆる素材に絵を描くことができますが、自分の好きな題材を思いどおりに一生懸命描くことで、日々の上達につながると思います。会で大切にしていることは、一人ひとりの好みに合わせた題材を選び、自由な発想で個性的な作品を仕上げ、その過程で技術の向上を図ることです。

当面の目標は、市民文化祭へ展示する作品の製作です。また、長期的には会員個々に技術を十分身につけて、今までに描いたことのない新しい図案や難易度の高い作品に挑戦して完成させてみたいと考えています。

問合せ 塩野谷久美さんへ
2953 1767

私の宝物 ...

独自の陶芸に欠かせない粘土

24年ほど前、私が陶芸を本格的に始めたきっかけは、陶芸の先生からもらった一握りの粘土です。その粘土で作った器が完成したときのうれしさは今でもよく覚えています。以来、陶芸の神髄は粘土であると確信し、粘土には特別な思い入れがあります。4年ほど前に製作した果物器も、永年の経験によって自分なりに練



斉藤孝夫さん
(北入曾在住)

りあげた粘土によって満足のいく作品に仕上がりました。私にとって粘土が最大の宝物です。



透かし彫りの器は、お気に入りの出来

今回は、友人で、水野にお住まいの方をご紹介します。

Hello ハロー 仲間たち

Vol.314



会員同士のきずなを大切にしています

ツールペインティング Ann